

Adobe® Creative Cloud (CC2023 ~ CC2024)

入稿データ作成ガイド (InDesign® / Illustrator® / Photoshop®)

本ガイドは、Mac 版 / Win 版共通の AdobeCC2023 ~ CC2024(※) の入稿ガイドです。
Mac 版と Win 版で内容の異なる項目は、Mac / Win マークで区別して表記しています。
なお、ガイド内のスクリーンショットは Mac 版を使用しています。

※ 2017 年にリリースされた AdobeCC のバージョンより、CC の年号表記がなくなりました。
本ガイドでは便宜上、

2022 年 10 月にリリースされたバージョンを Adobe CC2023
2023 年 10 月にリリースされたバージョンを Adobe CC2024 と表記しています。

※ Adobe CC2022 以前の入稿に関しましては、別途ご相談ください。

※オフセット印刷、デジタル印刷共通仕様データ（フレキシブル製造仕様）作成時の注意点
オフセット印刷とデジタル印刷を同一のデータで印刷する際のデータ作成については、
当入稿ガイドの注意事項に加えて、「デジタル印刷専用 PDF 作成ガイド」の 3 頁目以降の
特色利用や表紙データの作成方法を合わせてご参照ください。

主な改訂内容（以前の入稿ガイドから変更した点は PDF レイヤーで色付けしてあります）

【第1版】 Adobe CC2024 対応、カラーフォントの禁止明確化、Adobe Fonts 利用条件追加、Illustrator リンク許可

目次

対応バージョン	2
テキスト関連	2
オーバープリント	5
透明効果	6
配置データの設定〈リンクパレット〉	7
その他注意事項	7
その他注意事項：パッケージ	9
InDesign：入稿前のデータチェック	9
Illustrator：配置データの作成方法	11
Photoshop：配置データの作成方法	12
PDF データの作成方法	14
PDF データのプリフライト方法	19

■ 対応バージョン

< 共通 >

新たなアップデートが配布された場合、検証にて問題のないことを確認後、最新バージョンに対応し、旧バージョンの対応を終了させていただきます。

アップデート対応可否について、適用前にサブバージョンを含め確認をお願いします。

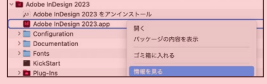
	InDesign	Illustrator	Photoshop
AdobeCC2023	18.5.1	27.9.1	24.7.2
AdobeCC2024	19.0.1	28.1	25.2

アップデートされる可能性がある為、本ガイドとサブバージョンが異なる場合があります。

作業バージョンは製造仕様書でお知らせください。

個人向けバージョンと異なる場合があります。表は 2023 年 12 月 15 日時点です。

●バージョンは、各アプリケーションの「情報を見る」からご確認ください。



作成日: 2022年10月19日 水曜日 8:50
変更日: 2022年10月19日 水曜日 8:50
バージョン: 18.0.0.312

< バージョン表記について > 例) InDesign CC2023 の場合

18. x. x

— Creative Cloud の不具合修正

— Creative Cloud の機能追加

— アプリケーションのメジャーバージョン

※アプリケーションのバージョンが変わらない限り変更なし



メジャーバージョンは例年、秋頃に最新版がリリースされていますが、検証にお時間をいただきます。
最新版へのアップデートは入稿対応が案内されてからお願いします。(旧バージョンも残す様をお願いします)

■ テキスト関連

< 共通 >

合成フォント

合成フォント機能は、InDesign及びIllustratorで合成フォント名が重複しないようにご注意ください。

文字詰め量の変化

OS X10.11 以降に搭載されているヒラギノフォントは仮名文字の濁点、半濁点が大きく変更されています。その為、文字間のカーニングを「オプティカル」に設定していると文字詰めが変化し、体裁が崩れる場合があります。

OS X10.11 以降でヒラギノフォントを使用する場合は、「オプティカル」を使用せず、「メトリクス」などを使用してください。

日本語組版コンポーザ

初期設定では『Adobe 日本語段落コンポーザ』が設定されていますが、修正時に改行位置が変更される場合があります。必ず『Adobe 日本語単数行コンポーザ』に設定してください。

変更方法: [書式] - [段落] - [パネルメニュー]

共通

Id
InDesign®

Ai
Illustrator®

Ps
Photoshop®

PDF

■ テキスト関連（続き）

対応フォント

下記が使用可能なフォントフォーマットの一覧です。
対応可能フォントの詳細は、弊社データ入稿製造仕様書にてご確認ください。

	使用可能（○）	使用不可（×）
フォント フォーマット	 OpenType フォント	OCF フォント CID フォント TrueType フォント (*1) OS 搭載フォント (*2) Win 用 Type1 フォント (.pfb / .pfm 等) Type1 フォント (*3)
パッケージ例	モリサワパスポート フォントワークス LETS Adobe Fonts(*4)	カラーフォント フリーフォント

※使用フォントの確認方法

InDesign や Illustrator は [書式] → [フォント検索...] の詳細情報より確認することが可能です。

*1) TrueType フォントについては、原則アウトライン化をお願いします。

*2) OS 搭載フォントについては、作業する OS のバージョンに依存する場合がありますため、アウトライン化をお願いします。

*3) 2023 年 1 月に Type 1 フォントのサポート終了（アプリケーションで認識できません）

*4) Adobe Fonts については、次ページの特性を理解の上、ご使用ください。
使用されている場合、利用条件をご了承いただいているものとして扱います。



カラーフォントは抜け・落ち・想定外の変化など、
PDF 書き出しや RIP 処理に影響を及ぼすため、使用を禁止します。
 翌明朝、ヒグミンフォントなど、カラー絵文字部分は印刷用途に適していません。
 【主なカラーフォント】（例）Apple Color Emoji、EmojiOne Color、Trajan Color など



モリサワパスポートは書体の改訂が行われる場合があります。
改訂前の環境と改訂後の環境で出力した場合に字形が変わる現象が発生します。
また組体裁が変わる場合がありますので、必ず改訂プログラムを適用の上ご使用願います。



Morisawa Fonts と MORISAWA PASSPORT は互換性があります。
2023 年 12 月現在、Morisawa Fonts のみにリリースされている書体は未対応となります。
詳しくはモリサワ HP をご確認ください。



字工房フォントは MORISAWA PASSPORT 版のみ対応しています。
字工房パッケージ版をご使用の方はアップデートが適用されているかご確認ください。
<http://www.jiyu-kobo.co.jp/update/>
 ※ Windows OS や macOS に搭載されている游書体フォントには対応していません。



フリーフォントをご利用される場合はアウトライン化をお願いします。
アウトライン化されたフォントは、添付及びデータ入稿仕様書へのフォント名の記載は不要です。

■ テキスト関連（続き）

*4) Adobe Fonts について

Adobe Fonts には以下の特性があります。
使用されている場合、利用条件をご了承いただいているものとして扱います。

Adobe Fonts は、クラウドでアクティブに提供されるフォントです。
今までとは異なるリスクが伴うため注意が必要です。

Adobe Fonts の書体提供は、追加、削除、更新が行われます。
タイミングによっては、品目の進行中に提供が終了したり、更新されるケースが想定されます。
また、後にデータを再利用する際にも、同様のケースが想定されます。
そのため、Adobe Fonts の利用は PDF ファイルへの埋め込みが強く推奨されています。
(ネイティブデータのやり取りには向きません)

【Adobe 公式案内】

- ・ Adobe Fonts を利用してフォントを指定した文書を入稿したり共有する場合の注意点
<https://helpx.adobe.com/jp/x-productkb/policy-pricing/note-for-using-typekit-font-jp.html>
- ・ サブスクリプションライブラリからのフォントの提供終了
<https://helpx.adobe.com/jp/fonts/using/removed-fonts.html>
- ・ フォントのライセンス
<https://helpx.adobe.com/jp/fonts/using/font-licensing.html>

※ Adobe Fonts の最新情報や動作環境につきましては Adobe 公式 HP をご確認ください。

Adobe Fonts を利用し、ネイティブデータで入稿する場合は、以下の利用条件をご確認ください。

【Adobe Fonts の利用条件】

- ・ Adobe Fonts の各フォントバージョンは、弊社作業端末が同期したタイミングのバージョンが反映されます。
ご入稿頂いた指定紙・弊社出校物・最終印刷物等において、一致しない可能性があります。
- ・ Adobe Fonts において障害が発生した場合、進行日程の調整・書体の置き換え等の代替策が必要となる場合があります。
- ・ Adobe Fonts の書体提供終了により、品目進行時、再版時等で書体変更が発生した場合、データの再入稿、再出校等による品質確保が必要となります。また、弊社作業が生じるため、追加費用が発生いたします。
- ・ Adobe Fonts の対応可能範囲は、Creative Cloud ライブラリで基本提供されているフォントのみとなります。
個別に追加された書体は対象外です。
- ・ 個人情報品目や高度な情報漏洩対策が必要な品目は、Adobe Fonts を利用できません。
- ・ Adobe Fonts は特性上、作業環境の再現・確認が困難なため、トラブル時の原因追究はできません。

■ オーバープリント

< 共通 >

アプリケーションの設定通りオーバープリント処理を行います。

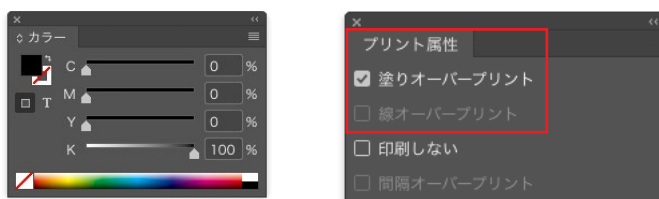
・ 墨 (Bk100%) も必要に応じてアプリケーションで設定してください。

【設定方法：InDesign の場合】

[InDesign 環境設定] - [黒の表示方法] - [「黒」スウォッチを 100% でオーバープリント] にチェックが付いている事を確認後 (デフォルトでは ON) [黒] スウォッチで色を指定します。

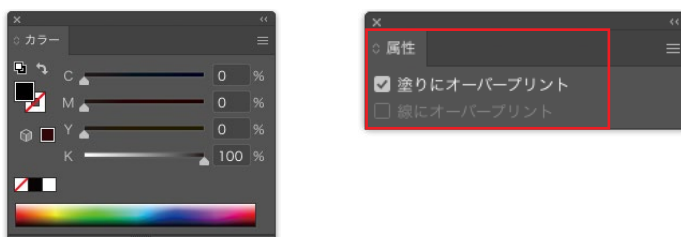


または、K100%のオブジェクトを選択して、プリント属性の[塗りオーバープリント]または[線オーバープリント]にチェックを入れます。

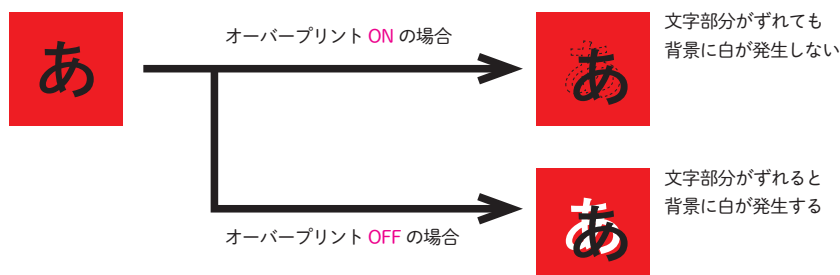


【設定方法：Illustrator の場合】

K100%のオブジェクトを選択して、プリント属性の[塗りオーバープリント]または[線オーバープリント]にチェックを入れます。



⚠️ Illustrator ではオーバープリントにチェックが入っているオブジェクトを選択した直後に、新規オブジェクトを作成すると、作成したオブジェクトにもオーバープリント属性が付きます。ご注意ください。



⚠️ 白及びグラデーションへのオーバープリント設定は行わないでください。オーバープリントの再現は、「オーバープリントプレビュー」や「分版プレビュー/色分解」にて事前に確認してください。

⚠️ アプリケーションの設定に関わらず墨 (Bk100%) にオーバープリント処理を行いたい場合はご相談ください。

■ 透明効果

< 共通 >

透明効果が及ぼす影響

PS、EPS及びPDF1.3形式では透明の保持が出来ないため、透明オブジェクト及び透明効果の影響を受けるオブジェクトは分割・統合*1され、稀にストリーク(白スジ)やがたつきが発生する場合があります。

※表示・出力方法により、再現は異なるため必ず印刷物と一致するわけではありません。

*1 ベクトルオブジェクトやラスタオブジェクト(ラスタライズされた部分)に、バラバラに分割すること

アプリケーション上の問題であることをご理解いただき、透明オブジェクトを可能な限り下位レイヤーに配置していただく、もしくは透明効果を使用しないデータで再入稿をお願いする場合がありますのでご了承ください。

透明効果の影響を最小限とするデータ作成方法と確認方法、およびそれが原因で発生する注意事項は下記の通りです。

(サンプル画像)



透明オブジェクト
(分割・統合プレビュー)

PDF1.3形式

影響範囲の確認

(オブジェクト単位)

透明の影響を受ける範囲の確認方法は下記の通りです。

InDesign : [ウィンドウ] - [出力] - [透明の分割・統合]

Illustrator : [ウィンドウ] - [分割・統合プレビュー]

透明オブジェクトは、下位レイヤーに影響します。透明オブジェクトを使用する場合はデザイン上問題のない範囲で最下位レイヤー(背面)で使用することを推奨します。

<InDesign>

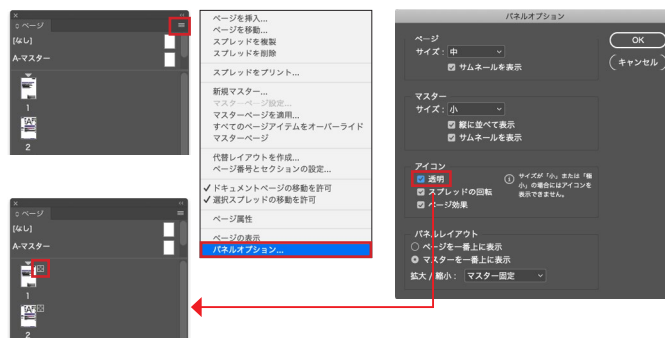
影響範囲の確認

(ページ単位)

透明効果を使用している場合、ページアイコン付近に市松模様のアイコンが付きます。

透明効果使用の目安としてください。

※ [ウィンドウ] - [ページ] - [パネルオプション] からアイコン覧の透明にチェックを入れてください。



<Illustrator>

ラスタライズ効果設定

ラスタライズ効果設定は下記のように設定してください。

① [効果] - [ドキュメントのラスタライズ効果設定] で、解像度を『高解像度 (300ppi)』に選択してください。

② オブジェクトの周囲を『0mm』に設定してください。

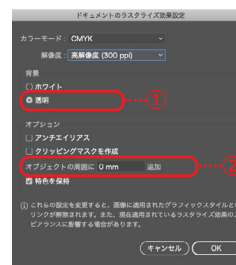
初期設定では12.7mmとなっており、効果オブジェクトの周囲に余白やスジが入る場合があります。



<72ppiの点描効果>



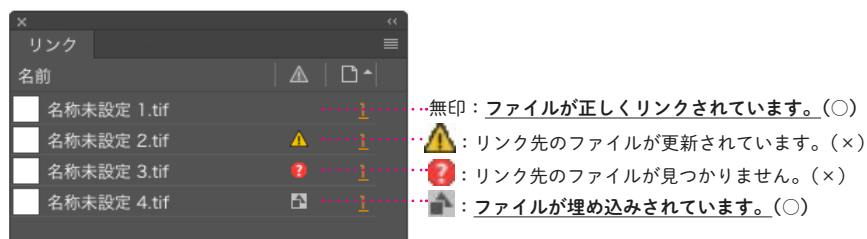
<300ppiの点描効果>



■ 配置データの設定〈リンクパレット〉

<InDesign>

全ての画像が正しくリンクされていることをご確認ください。



<Illustrator>

画像を配置した場合は、パッケージ機能を利用し元画像を添付して入稿してください。

※27.0のパッケージ機能に不具合があるため必ず27.0.1以降をご使用ください。

※過去バージョンと表記が変わっているのでご注意ください



■ その他注意事項〈共通〉

<レイヤー>

不要なレイヤー（出力見本に出力されていないオブジェクトやレイヤー）は、削除の上ご入稿ください。

<特色について>

Pantone Connect プラグイン（有料版）には対応していません。

削除されたカラーをご使用の場合、アプリケーション／バージョンによっては、スウォッチの表示色がグレーや黒になる場合があります。

印刷版としては正常に出力されますが、書き出した PDF の表示色はグレーや黒となる場合があります。

特色と墨の掛け合わせを利用の場合は事前に相談ください。

特色を別ファイルで別版に分ける必要はありません。

特色名が統一されているか、分版プレビューでご確認ください。

オフセット印刷とデジタル印刷を同一のデータで印刷する際のデータ作成については、当入稿ガイドの注意事項に加えて、「デジタル印刷専用 PDF 作成ガイド」の p.3 以降の特色利用や表紙データの作成方法を合わせてご参照ください。

共通

Id

InDesign®

Ai

Illustrator®

Ps

Photoshop®

PDF

■ その他注意事項＜共通＞（続き）

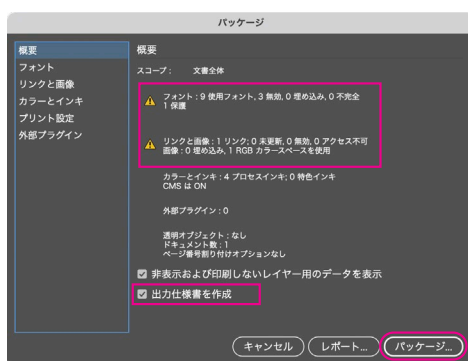
<パッケージ>

『パッケージ』機能（[ファイル] - [パッケージ ...]）を使用しリンクファイルや書体の収集を行い、不足がないことを確認の上ご入稿ください。

※ Photoshop にもパッケージ機能が追加されていますが、入稿において運用制限を設けています。
詳細は p.12「Photoshop: 配置データ作成方法」の注意事項をご参照ください。

※配置データに配置しているデータやフォントは収集されませんのでご注意ください。
例) InDesign に配置している ai 形式データに配置している PSD 画像や収集可能なフォント

< InDesign >



入力せず「続行」で OK です。

警告が発生している場合はデータを確認／修正してください。

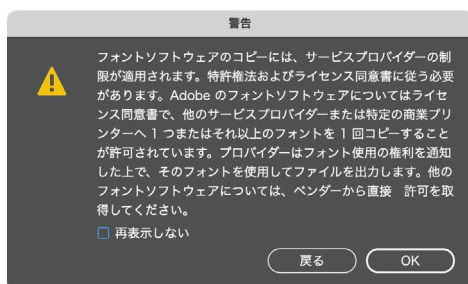


< Illustrator >



※ 27.0 には重大な不具合があります。
27.0.1 以降で作業してください。

<共通>

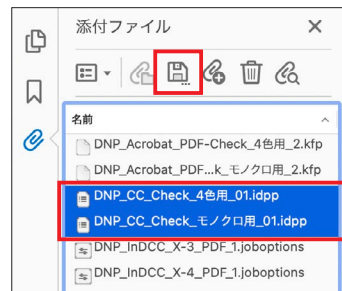


※パッケージの際、警告が表示されます。
各フォントのライセンスをご確認ください。

■ InDesign: 入稿前のデータチェック

ライブプリフライト

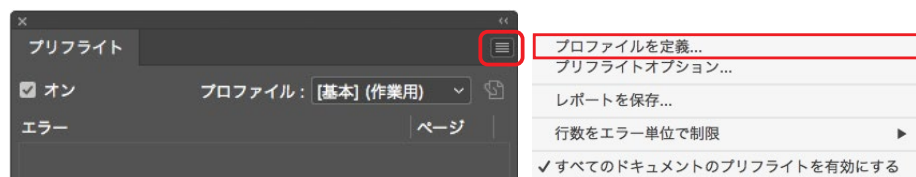
InDesign では、ライブプリフライトを用いてデータをチェックすることを推奨しています。
弊社推奨のライブプリフライト用プロファイルを本 PDF に添付しております。
Acrobat DC Pro にて PDF を開き、[表示] - [表示切り替え] - [ナビゲーションパネル] - [添付ファイル] からプロファイルを選択し、[保存] ボタンをクリックし任意の場所に保存します。



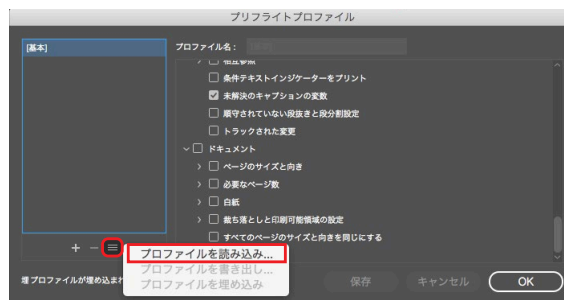
※他の添付ファイルも PDF の書き出しや、
Acrobat DC Pro のプリフライトで利用します。
一緒に保存をお願いします。

ライブプリフライトプロファイルを、以下の手順で取り込んでください。

- ① [ウィンドウ] - [出力] - [プリフライト] パレットを表示
- ② プリフライトパネルメニューから [プロファイルを定義] を選択

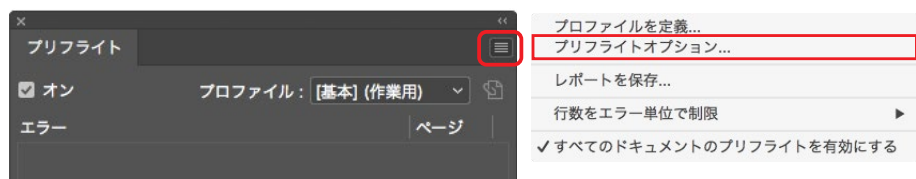


- ③ [プリフライトプロファイル] から [プロファイルを読み込み] を選択し、
「DNP_CC_Check_4 色用_02.idpp」「DNP_CC_Check_モノクロ用_02.idpp」を取り込みます。

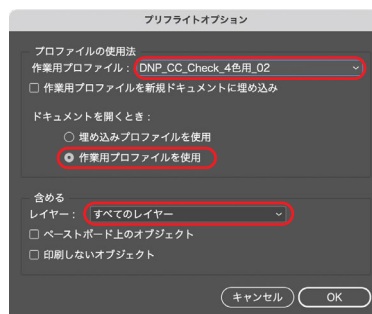


※モノクロ用は必要に応じて
読み込みをお願いします。

- ④ 標準プリフライト設定を変更するため、プリフライトパネルメニューから
[プリフライトオプション] を選択します。

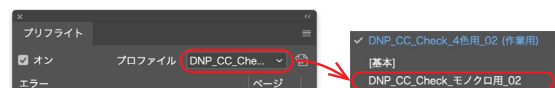


- ⑤ 作業用プロファイルを下記設定に変更。(必要に応じて使用頻度の高い方を選択してください)



作業用プロファイル: DNP_CC_Check_4 色用_02
ドキュメントを開くとき: 作業用プロファイルを使用
レイヤー: すべてのレイヤー

プリフライト時にプロファイルを切り替え可能です。



■ InDesign: 入稿前のデータチェック（続き）

ライブプリフライト

ライブプリフライト結果にエラーがある場合は、プリフライトウィンドウから問題箇所を検索し、修正・確認してください。（チェック内容は下記参照）

チェック内容
リンクはずれ / 更新
シアン、マゼンタまたはイエロープレート ※ 1
RGB/Lab/ 特色の使用 ※ 2
白のオーバープリント設定
レジストレーションカラーの使用
画像解像度が 300dpi 未満もしくは 600dpi 以上
オブジェクトの縦横比が固定されていない拡大 / 縮小
線幅が 0.1mm 以下
オーバフロー
環境にないフォントの使用
ビットマップフォントの使用
インタラクティブなコンテンツの配置
異なるページサイズと向きの使用 ※ 3

※ 1 モノクロプロファイルをご使用の場合、K 版以外を使用していると検出されます。CMYK 画像の K 版のみは検出できませんので、エラーが出た場合は分版プレビューで K 版以外のご確認をお願いします。

※ 2 意図した特色の使い方になっているか、使用箇所のご確認をお願いします。

※ 3 ページサイズが異なる場合、使用箇所のご確認をお願いします。



プリフライト機能で、全ての問題をチェックできるわけではありません。
補助的な機能としてご利用ください。

TAC 値（総網点量）

TAC 値（総網点量）が高すぎると、ブロッキング（インキが乾く前に、重なった用紙が接着してしまう現象）等の印刷トラブルが起る可能性があります。

ウィンドウメニューの [出力] - [分版プレビュー] よりご確認ください。

①表示 : インキ限定
②総使用量 : 321%

※インキ総使用量が 320% より多い部分は、上記の様に赤く表示されます。
最大濃度の調整をお願いします。



色調を保持したまま、TAC 値を下げたい場合は、事前に弊社営業までご相談ください。

■ Illustrator: 配置データの作成方法

推奨形式

Illustrator では、『ネイティブ形式』での入稿を推奨しています。

注意事項



ファイル→ドキュメント設定にて、**保存時に白のオーバープリントを破棄する設定があります。**
初期設定は ON になっていますので、チェックを外さないようお願いします。
※この設定は保存された時のドキュメント設定に依存します。



2023 で搭載された「クロスと重なり」機能には不具合があります。**※ 27.1.1 で修正されました。**
使用部分の分割・拡張をお願いします。(使用部分だけでなく、関連するオブジェクトも画像化されます)

(サンプル画像)
黄丸部分に使用



分割・拡張前

データ上は問題ありませんが、
保存データは画像化されます。

丸と右下への線に影響



分割・拡張後

分割・拡張後は元に戻せません。
元データの管理をお願いします。

27.1.1以降であれば
分割・拡張の必要はありません。



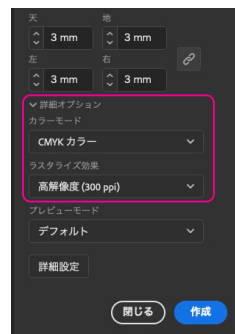
1 アートボードにつき、1 ファイルで保存してください。



上位バージョンにて作成されたIllustratorデータを、下位バージョンで開いても**警告が出ない場合があります。**
「データ入稿製造仕様書」記載のバージョンと合致しているか確認し、作成したバージョンでの訂正、
出力をお願いします。違うバージョンで開いた場合、組版体裁など変化する可能性があります。
例) 2022 で作成したものを 2021 で開く→**警告なし**

ドキュメントのカラーモード

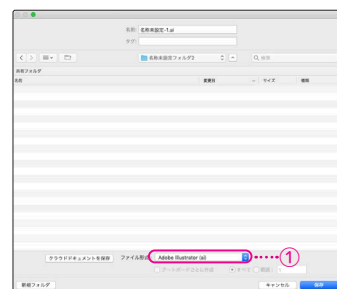
ドキュメント作成時の[カラーモード]は、
『CMYK』を選択してください。
[ラスタライズ効果]は『高解像度(300ppi)』を
選択してください。



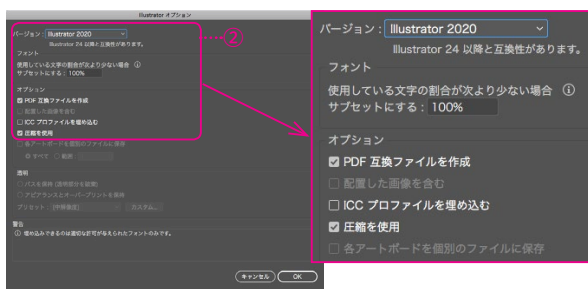
『ネイティブ形式』の保存方法

- ①フォーマット [Adobe Illustrator (ai)]
- ②オプション 以下の通り設定してください。

① フォーマット



② オプション



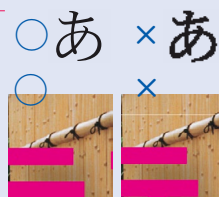
< 参考 >

『EPS 形式』の保存について



透明効果を使用している場合、EPS 形式では以下のような問題が発生する場合があります。

- 透明設定で「高解像度」が選択されていないと、文字がガタついて出力されるなどのトラブルが発生する可能性があります。
- InDesign に配置した場合、白いスジが入る場合があります。



■ Photoshop: 配置データの作成方法

推奨形式

Photoshop では、『**ネイティブ形式**』での入稿を推奨しています。

注意事項



以下のデータは、ネイティブ形式での入稿は不可です。

- 『ベクトル（テキスト）データ』を含む画像



対応可能なカラーモードは CMYK、グレースケール、モノクロ 2 値に限ります。

画像は原寸での配置をお願いします。また、画像解像度は出力線数×2 倍（通常は原寸使用時で 300～350dpi）を推奨しています。



スマートオブジェクトでファイルをリンクする機能が追加されましたが

従来通り『**埋め込み**』で入稿をお願いします。

※ Photoshop にも『**パッケージ機能**』が追加されていますが、『リンク』を使用したパッケージ化したデータではなく、『埋め込み』での入稿をお願いします。

『ネイティブ形式』の保存方法

①フォーマット [Photoshop] 形式

②カラー

Mac

[カラープロファイルの埋め込み]：チェックを外す

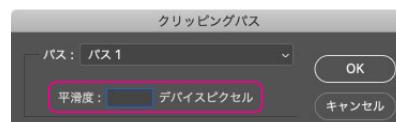
Win

[ICC プロファイル]：チェックを外す



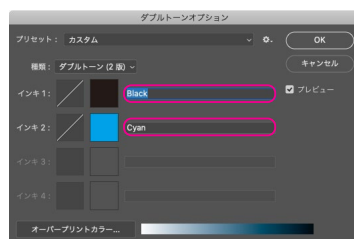
切り抜き

切り抜き画像作成のため、クリッピングパスを使用する際は、クリッピングパス作成時に表示される『平滑度』に数値を入力しないでください。



ダブルトーンについて

ダブルトーンで特色をプロセス版として出力する場合は、下記色版名をご入力ください。
この名前以外を使用されますと、配置時に特色として認識されてしまいますのでご注意ください。



	インキ名
シアン版	Cyan
マゼンタ版	Magenta
イエロー版	Yellow
ブラック版	Black

※最初の1文字は大文字、残りは小文字です

特色

プロセスカラー（CMYK）＋特色を含む画像データは、『Photoshop ネイティブ形式 (psd)』で配置してください。（EPS 形式では特色が保持されません）
Pantone カラーブックに関しては p.7 をご確認ください

共通

Id InDesign®

Ai Illustrator®

Ps Photoshop®

PDF

■ Photoshop: 配置データの作成方法（続き）

< 参考 >

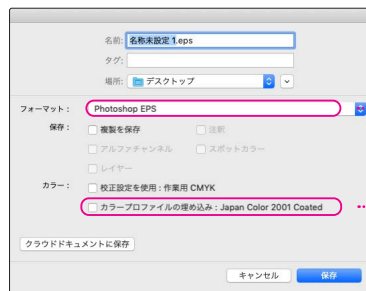
『EPS 形式』の保存方法

EPS 形式での注意事項



- ベクトルデータを含む EPS 画像は、データを開く際にラスタライズされるため、修正作業ができません。
- PhotoshopEPS で保存した場合、特色情報が保持できません。

- ①フォーマット [Photoshop EPS] 形式
- ②カラー **Mac** [カラープロファイルの埋め込み]: チェックを外す
Win [ICC プロファイル]: チェックを外す
- ③プレビュー [TIFF (8bit/pixel)] を選択してください。
- ④エンコーディング [バイナリ] または [JPEG- 最高画質 (低圧縮)] を選択してください。
※ [JPEG- 最高画質 (低圧縮)] は容量は減りますが、わずかに画像が劣化します。
- ⑤すべてチェックを外してください。



『TIFF 形式』の保存方法

以下のデータは、TIFF 形式での入稿は不可です。



- 『レイヤー』や『透明効果』を含む画像
- 『切り抜きパス』を含む画像

- ①フォーマット [TIFF] 形式
- ②カラー **Mac** [カラープロファイルの埋め込み]: チェックを外す
Win [ICC プロファイル]: チェックを外す
- ③画像圧縮 [なし] または [LZW] を選択してください。
※ LZW は画像圧縮されますが画質は劣化しません。



■ PDF データの作成方法

PDF でご入稿いただく場合の推奨設定を下記にご説明します。

<アプリケーション>

- | | |
|------------|---------------------------------|
| ・ PDF 作成 | InDesign CC2023 ～ CC2024 |
| ・ PDF チェック | Acrobat Pro |

<PDF 仕様>

- | | |
|------------------------------|---|
| ・ 対応バージョン | <ul style="list-style-type: none">・ データ作成方法は p.2 ～ p.13 をご参照ください。・ PDF/X-4 に準拠した PDF バージョン 1.6 形式・ PDF/X-3 に準拠した PDF バージョン 1.3 形式 透明効果を使用している場合、分割処理がされるためご注意ください。
詳細は p.6 をご参照ください。
※ PDF/X-3 と PDF/X-4 のどちらにして良いか迷われる場合は PDF/X-4 をお選びください。 |
| ・ フォント | 全て埋め込みを行ってください。
但し、ユーザ作成外字、TrueType フォント、フリーフォントは、埋め込みではなく、事前にアウトライン化してください。
カラーフォントは抜け・落ち・想定外の変化など、PDF 書き出しや RIP 処理に影響を及ぼすため、使用を 禁止 します。
貂明朝、ヒグミンフォントなど、カラー絵文字部分は印刷用途に適していません。 |
| ・ カラーモード | CMYK モード、グレースケールモードをご使用ください。
● RGB モード、ダブルトーンは使用出来ません。
特色を含んだデータの入稿は p.7 をご確認ください。 |
| ・ ICC プロファイルによる
カラーマネジメント | 画像・オブジェクトへの ICC プロファイルの埋込みや、ポストスクリプトカラー管理は行わないでください。 |
| ・ セキュリティ設定 | 暗号化やパスワードの設定は行わないでください。 |

<弊社追加内容>

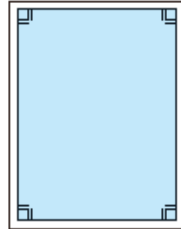
- | | |
|-------------|---|
| ・ ファイル名について | <p>以下のルールに基づいて、入稿時にファイル名を付けてください。</p> <ul style="list-style-type: none">● ファイル名には半角英数字のみ使用してください。● 表記順は、『品名／号数情報、開始頁ノンブル、拡張子(.pdf)』としてください。 <p>〈例〉 □□□□□_△△△.pdf
□□□□□：品名、号数情報
△△△：開始頁ノンブル</p> <p>※ノンブルはPDF ファイルの開始頁を、表記してください。
※ファイル名は拡張子を含め、半角31桁以内としてください。</p> |
| ・ ページ単位について | <p>1ページ1ファイル、複数ページ1ファイルのどちらでも問題ありません。
ただし、複数ページ1ファイルの場合はページが連続している必要があります。
間に別途広告ページなどが入る場合は、分割して入稿してください。</p> <p>例) 1 ～ 20ページで1テーマだが、16が広告で別ファイルになる場合
→ 1 ～ 15と17 ～ 20で2つのPDFにしてください。(16を白にして挿入しない)</p> <p>※デジタル印刷向けPDFでは、仕様が異なります。
詳細は、デジタル印刷専用PDFガイドp.1およびp.4をご確認ください。</p> |

■ PDF データの作成方法（続き）

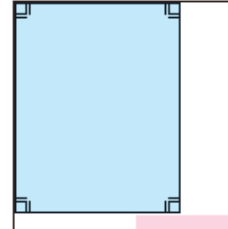
- ・オーバープリント設定
アプリケーションの設定通りのオーバープリント処理を行います。
 - ・ 墨(Bk100%)も必要に応じてアプリケーションで設定をお願いします。※p.5をご参照ください。

- ・データ位置の確認
データはドキュメントの中心に配置されていることを確認してください。

○ 中心に配置されている例

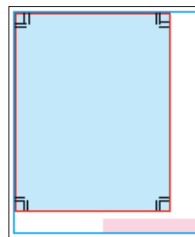


× 不要なオブジェクトにより
中心位置にずれが生じている例



Acrobat の「ページボックスを設定」(旧：ページのトリミング) 機能を用いると、表示上はセンターに配置されているように見えていても、設定前のデータの領域は残っています。実際はドキュメントの中心にデータは存在していません。

Acrobat の「ページボックスを設定」機能は用いず、元データから見直してください。
PDF の位置調整が必要な場合は InDesign に配置し、位置決め後に PDF を書き出してください。



× 青線が元のデータ領域
赤線内がトリミング後に表示されている部分

- ・出力見本を出力する際
添付頂く出力見本は、レイアウトソフト等からの直接出力ではなく、PDF データ自体の出力を行ってください。PostScript 3 対応出力機(PDF対応出力機)における出力を推奨します。



出力機の機種や設定によりデータの再現性、品質に差異が生じる可能性があります。
貴社と弊社環境における出力結果の整合性を事前に確認させていただきます。

- ・書き出し時の注意点
複雑なパターンやその縮小、透明効果とグラデーションの組み合わせ、パスが多いオブジェクト等は事前に分割処理を行うことを推奨いたします。

【方法】

Illustrator：オブジェクトを選択し、[オブジェクト]→[分割・拡張]



スウォッチパレットに登録されたパターンに、変倍や回転をかけてオブジェクトに適用した場合や、上記効果を使用した場合、データ変換処理(RIP演算)後、意図しない出力結果となる場合があります。

- ・ファイル容量について
1タイトル分のPDFは、ファイル容量が大きくなりすぎないようにご注意ください。
目安：1タイトル2GB以内(複数ファイルある場合は総計)
目安を超える場合は、書き出し設定で解像度や圧縮を必要に応じて変更してください。
但し、リサンプリングの解像度による画像劣化にご注意ください。

■ ジョブオプション設定方法

<InDesign 用ジョブオプション設定方法>

- ・ジョブオプション使用前の準備

推奨設定を適切に反映させた PDF 作成を行っていただくため、PDF 作成ジョブオプション及び PDF チェック用プリフライトを本 PDF に添付しております。
※本PDFより取り出す方法はp.9を参照してください。

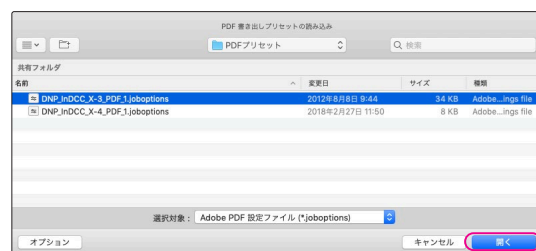
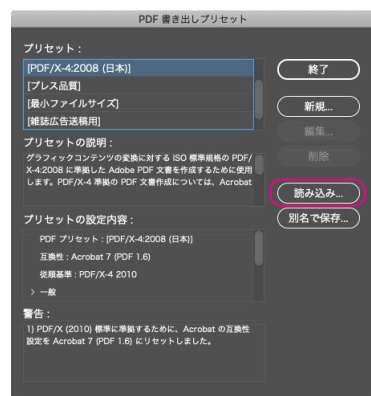
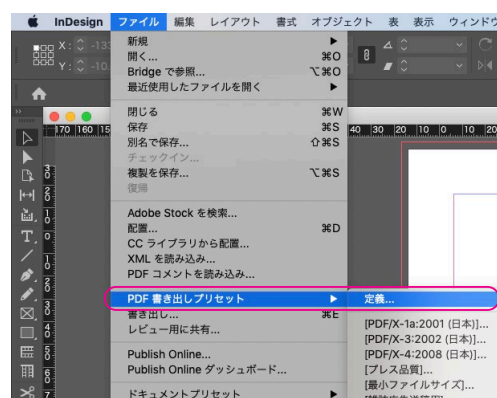
《ジョブオプション名》

PDF/X-4ジョブオプション：DNP_InDCC_X-4_PDF_1.joboptions

PDF/X-3ジョブオプション：DNP_InDCC_X-3_PDF_1.joboptions

《取り込み方法》

[ファイル]-[PDF書き出しプリセット]-[定義]-[読み込み]



■ PDF データの作成方法 PDF/X-4 (PDF/X-3 は次ページを参照)

書き出し方法について

[ファイル]－[書き出し]で「形式：AdobePDF (プリント)」を選択し、PDF 書き出しプリセットで「DNP_InDCC_X-4_PDF_1」を選択してください。

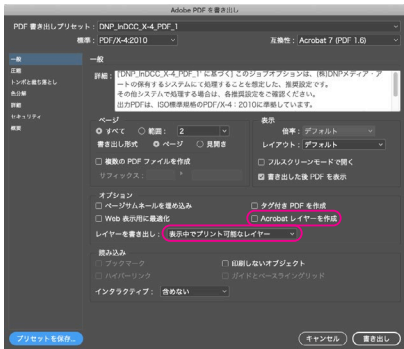
設定内容

・ InDesign CC2023 の場合

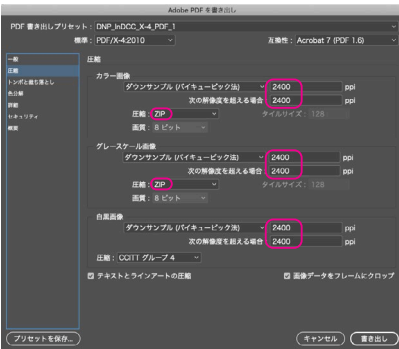
事前に PDF 書き出し設定を、以下の図の通り設定し保存しておきます。

● 赤線で囲っている部分は、デフォルト設定「PDF/X-4」から変更している箇所です。

●一般



●圧縮



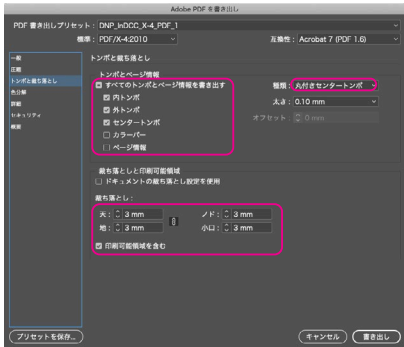
【「一般」の設定について】

「Acrobatレイヤーを作成」のチェックは外してください。

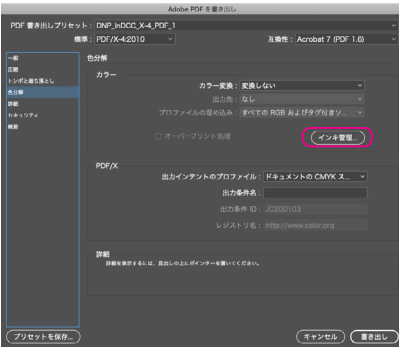
【「圧縮」の設定について】

・ 左図の設定値を推奨しますが、必要に応じて変更可能です。但し、リサンプリングの解像度による画像劣化にご注意ください。
・ PDF作成時、JPEG圧縮により網%が多少変化するため、ZIP圧縮を推奨します。

●トンボと裁ち落とし



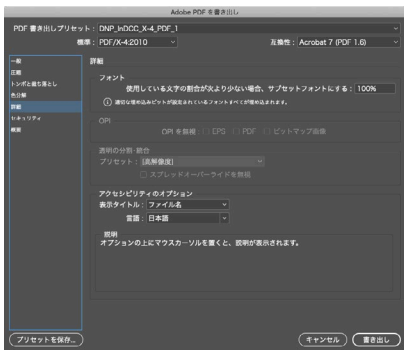
●色分解



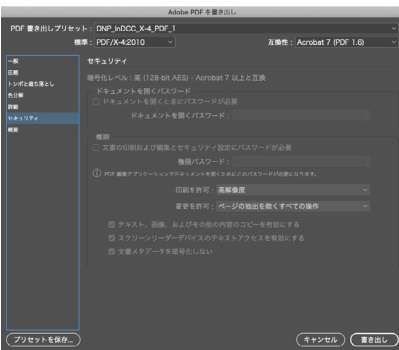
【「インキ管理」設定について】

データに特色が含まれている場合、「すべての特色をプロセスカラーへ」のチェックが表示されます。チェックを付けることで、特色を含まないPDFを作成することが可能ですが、指定したプロセスカラーに変換するためにも事前にデータ上でプロセスカラーへ変換する事を推奨します。
特色をご使用の場合は使用版のみになっているか、確認をお願いします。

●詳細



●セキュリティ

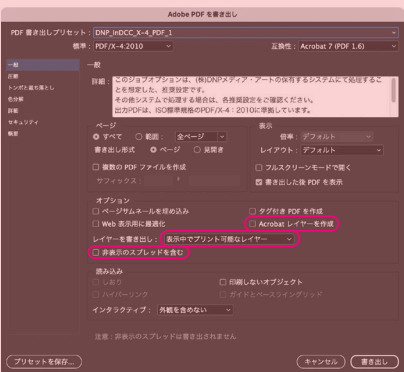


【「カラー」設定について】

意図しない色調変換によるトラブルを防止する為、[編集]－[カラー設定]の「カラーマネージメントポリシー」CMYK部分は、[カラー値を保持(リンクされたプロファイルを無視)]を選択してください。



●一般(CC2024)



【「一般」の設定について】

2024から「非表示のスプレッドを含む」が追加されました。
チェックを入れると不要なページが印刷される恐れがありますので、ご注意ください。

■ PDF データの作成方法（続き）

<PDFデータのプリフライト>

・入稿データの確認

PDFは必ずAcrobat DC Proにてプリフライトを実行し、データチェックを実施してください。
プリフライトファイルは本PDFに添付されています。プリフライトファイルの保存方法はp.9をご参照ください。

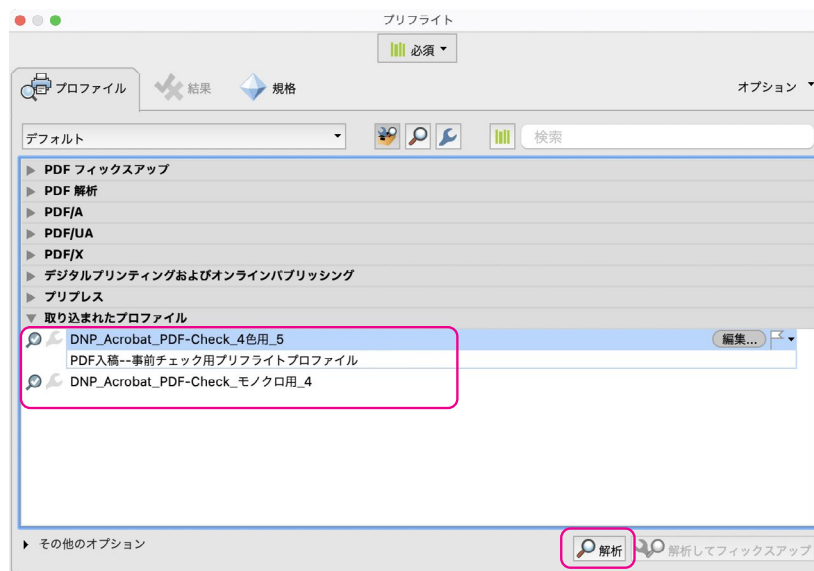
・プリフライト使用方法

取り込み：[編集]-[プリフライト]-[オプション]-[プリフライトプロファイルを取り込み]から取り込みます。

『DNP_Acrobat_PDF-Check_4色用_5.kfp』

『DNP_Acrobat_PDF-Check_モノクロ用_4.kfp』

実行方法：[編集]-[プリフライト]-[取り込まれたプロファイル]から色数に合わせ使用プロファイルを選択し、
解析ボタンを押してください。



・プリフライト項目

以下の項目が主なプリフライト項目となります。

	プリフライト検知項目	確認内容/対処方法
エラー	RGBが使用されている	該当箇所をCMYKモードに変換
エラー	Type3フォントが使用されている※1	印刷用途に不向き／画像化又は使用フォント変更
エラー	PDFバージョンが1.6より新しい	p.17またはp.18の「●一般」設定を確認
エラー	注釈が使用されている	印刷用途に不向き／注釈を使用しない
エラー	白にオーバープリントが設定されている	白に対するオーバープリント設定を解除
エラー	インキ総量が320%を超えている※2	総インキ量を320%以下に変更
エラー	パスのノード数が10000を超えている※3	パスが多すぎる目安／ラスターライズ（画像化）
エラー	フォントが埋め込まれていない	埋め込み可能な環境にて埋め込み／アウトライン化
エラー	ページサイズや向きが異なる	該当する場合、別ファイル化を実施
エラー	ページが回転されている	レイアウトソフト上で回転をかけ向きを調節
エラー	レイヤーが使用されている※4	p.17の「●一般」設定を確認
エラー	ファイルサイズが2GBを超えている	画像を適正解像度にする／PDF書き出し時に調整
エラー	黒以外のカラーが使用されています※5	分版プレビュー／出力プレビューでBK版以外を確認
警告	CMYにオーバープリントが設定されている	意図したオーバープリントか要確認／チェックを外す
警告	特色が使用されている※6	意図した特色か要確認／作成アプリケーションで4色化
警告	BK100%が抜きに設定されている※7	p.5を確認／適切にオーバープリントを設定
警告	画像解像度が350dpi未満	印刷用途には不十分であるため、要確認

※1 Type3フォントとRGBの組み合わせはカラーフォントの確率が高く、印刷時に再現できません。

※2 掛け合わせの網%は、平網等の掛け合わせ部分のみの確認となります。

※3 パスが多く処理がかからない場合があります。

※4 レイアウトでの使用は問題ありませんが、書き出し時はレイヤーを作成しないでください。

※5 モノクロ用のみで検出。CMYK画像のK版のみでも検出する為、分版プレビュー等で不要版を確認してください。

※6 特色品目以外では特色を使用しないでください。

※7 下地が白の場合や、意図したヌキの場合があるため警告としています。



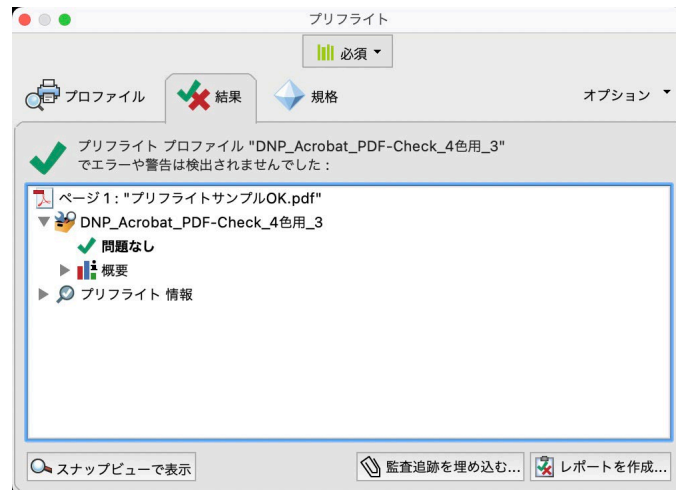
オーバープリントに関するチェックは、弊社推奨設定で処理することを想定したプリフライトを添付しています。

■ PDF データの作成方法（続き）

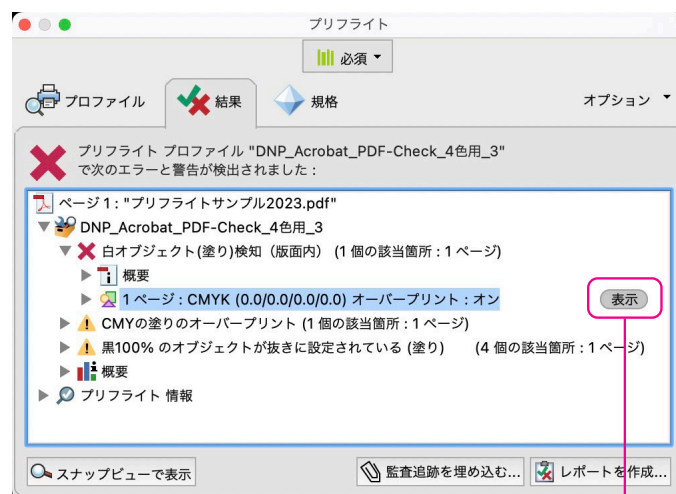
- ・プリフライト結果 確認方法
プリフライト結果が「**問題は検出されませんでした**」となる事をご確認いただいた上でデータを入稿してください。
プリフライト結果のエラー／警告箇所は、項目を展開し、詳細内容をダブルクリック又は「表示」を選択する事で該当箇所を表示する事ができます。
警告箇所は内容をご確認いただき、問題がなければそのまま入稿可能です。
エラー箇所は内容をご確認いただき、ネイティブデータでの修正をお願いします。

プリフライトの結果

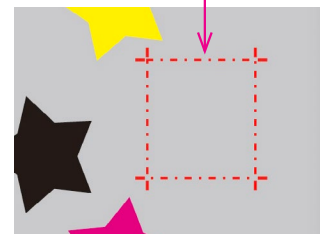
<問題なし>



<問題あり>



エラー箇所の表示が可能
白にオーバープリントの為、
画面表示されていません。



=以上=

*本仕様書では、便宜上、2022年10月リリース版をCC2023、2023年10月リリース版をCC2024と表記しています。

基本情報

●入稿日：	/	お客様サイン欄	弊社営業サイン欄
●品名：			

出力ファイル

●出力ファイル名：	
●データ形式	完全データ（データ校了） 非完全データ *完全データとは、差し換え作業のない、出力するだけのデータです。
●OSバージョン	Mac OS () . () . () / Windows ()
●出力版	C M Y K 特色 () / ()

使用アプリケーション

※各最新バージョンの対応は、原則、弊社での検証完了後とさせていただきます。

● InDesign	CC2023(18.() ()) CC2024(19.() ())	※作業されたサブバージョンのご記入をお願いします。
● Illustrator	CC2023(27.() ()) CC2024(28.() ())	※作業されたサブバージョンのご記入をお願いします。
● Photoshop	CC2023(24.() ()) CC2024(25.() ())	※作業されたサブバージョンのご記入をお願いします。
● PDFデータ ○制作アプリケーション (InDesign)	CC2023(18.() ()) CC2024(19.() ())	※作業されたサブバージョンのご記入をお願いします。
○PDFバージョン	PDF1.3 PDF1.6	※フォントは全て埋め込み 作成外字とTrueType、フリーフォントはアウトライン化
● プリフライト アプリケーション	Acrobat DC Pro	

使用フォント

※記載のないフォントについては、弊社担当営業までお問い合わせ下さい。

● 和文フォント (OpenTypeのみ可)	モリサワパスポート ※「アップグレード2023年10月版」対応	フォントワークスLETS ※上記のみ可
	※その他 ご使用フォントをすべてフルネームでご記入ください。	
● 欧文フォント	※ご使用フォントをすべてフルネームでご記入下さい。	

上記フォント以外は全てアウトライン化済 Adobe Fonts（※入稿ガイド P.4の利用条件を了承の上、使用しています）

以下の項目をご確認頂き、「□」にチェックをお願い致します。

※これらの内容について、実際のデータと異なる場合に発生したトラブルは責任を負いかねます。

チェック欄

<共通>

入稿データは仕上がりサイズ・原寸で作成されており、塗り足しを設定しています。

OK

カラースペースはCMYKまたはグレースケールで作成しています。 ※RGBは使用不可

OK

TAC値（インキ総量）は、320%を超えていません。

OK

トンボはレジストレーションカラーで作成しています

OK

画像の拡張率は80%～120%としています。 ※原寸が望ましい

OK

BK100%に対するノセ処理を適切に処理しています。
入稿データ作成ガイド P.5 オーバープリントを参照してください。

OK

白及びグラデーションへのオーバープリント設定は行っていません。

OK

TrueTypeフォントは使用していません。（またはアウトライン化済み）

OK

フリーフォントは使用していません。（またはアウトライン化済み）

OK

Adobe Fonts利用の場合は利用条件を了承の上、使用しています。 ※入稿ガイド P.4参照

OK

カラーフォントは使用していません。
（例：Apple Color Emoji、EmojiOne Color、Trajan Color 他）

OK

モリサワパスポートは「アップグレード2023年10月版」に対応しています。

OK

最終データの出力見本を原寸で出力し、添付しています。

OK

InDesign,Illustratorの入稿データはパッケージ済みです。（不要なデータは入れていません。）

OK

オリジナルデータはバックアップ済みです。

OK

<Photoshop>

カラープロファイル/ハーフトーンスクリーン/トランスファ関数/ポストスクリプト
カラーマネジメントは使用していません。

OK

<Illustrator（EPS形式）>

EPS形式をご使用の場合、ラスターライズ効果設定の解像度設定と、[書類設定] 及び
[EPS保存オプション] の分割・統合は、高解像度になっています。

OK



アプリケーション毎に、詳細な入稿ガイドラインをご用意しております。
そちらも必ず遵守いただきますようお願い申し上げます。

備考